

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	3	学年	1	科	情報技術科
----	----	----	--------	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

- ① 工業各分野における基礎的技術を体験し、興味・関心を高め、工業の意義と役割を理解する
- ② 上記の体験と学習をとおして、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。
- ③ 以後の専門教科学習に必要な基礎事項の実習をとおして、基本的な技術の習得と自分の実施した内容をレポートとしてまとめ、以後の学習へとつなげていく基本的な態度とその習慣化を図る。
- ④ これらの基本的事項について、期限を守って計画的に行えるようにする。

2、使用教科書・副教材

工業技術基礎（実教出版）

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	オリエンテーション ・Word, Excel の基礎を学び、レポートの作成方法を身に付ける	考查は行わない	15
	6月	実技学習 scratch と電子回路 マイコンボード制作 画像処理1 電気計測		
二学期	7月	実技学習 3DCAD1 C言語 論理回路 マイコン制御1	考查は行わない	42
	8月			
	9月			
	10月			
三学期	11月	実技学習 画像処理2 3DCAD2 プレゼンテーション マイコン制御2	考查は行わない	33
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	対話型学習を軸に、発問や記述の両面で言語活動を行う。
関心・意欲・態度	授業態度、提出課題の取り組み方等、総合的に実習に取り組んだかを評価する。
思考・判断・表現	課題への取り組みや進め方に対して、個人で考え判断できるかを評価する。
観察・実験の技能	完成課題、実験結果のまとめに対して、正確性をみて判断する。
知識・理解	提出課題の正確性と記述内容、提出課題への取り組み方を評価する。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

欠席した場合は、如何なる理由であっても早急に担当教諭に申し出て補充を行い、提出課題を提出する。
なるべく欠席せず、授業を受けることが望ましい。
提出課題は決められた期日を守る。守れない場合には遅延課題を課す。